

## 令和3年度第2回子ども・子育て会議 会議録

### 日時

令和3年8月4日（水曜）14時～16時

### 場所

ZOOMアプリにてオンライン開催

### 出席委員

柏女会長、田中副会長、佐藤委員、松本委員、松田委員、櫻庭委員、藪本委員、伊藤委員、矢口委員、橋本委員、羽中田委員、高山委員、小澤委員

### 欠席委員

杉橋委員

### 事務局

秋元子ども家庭部長、小谷子ども家庭課長、遠藤保育課長、青野子ども政策室長、倉本子ども家庭課主任主査  
廣原子ども家庭課主査、北根子ども家庭課主事

### 議題

- (1) 会長・副会長の選出
- (2) 委員紹介
- (3) 第2期子どもをみんなで育む計画における令和2年度事業評価について
- (4) その他

### 配布資料

- 資料1：子どもをみんなで育む計画事業評価
- 資料2：事業評価シート（全事業）
- 資料3：事業評価集計表
- 資料4：第1回会議における委員からの意見一覧

## 議事録（概要）

### 《事務局》

本日は委員改選後初の会議でございます。本来であれば、委員の皆様へ委嘱状の交付を行うところでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、委嘱状の交付は、あらかじめ郵送をもって代えさせて頂きました。

また、本日の会議の留意事項ですが、本日もZOOMによる会議の開催となります。会議の傍聴は、同室でモニターに状況を映写することで対応していることを申し添えます。

次に、会議への出席についてです。この審議会委員は、それぞれ個人の委嘱となっておりますので、代理による会議の出席は認めることができません。あらかじめご了承ください。

ここで、会議に先立ちまして、子ども・子育て会議を所管する子ども家庭部の秋元子ども家庭部長からご挨拶申し上げます。

### 《秋元部長》

子ども家庭部長の秋元と申します。委員の皆さまには、流山市子ども・子育て会議の委員をお引き受けいただきまして、誠にありがとうございます。

本会議は、今期で第5期目を迎えることとなりました。これまでは、増え続ける人口に対応する為に、保育所等の整備による待児童解消や、学童の整備などを喫緊の課題と捉え、委員の皆さまよりご意見を頂きながら進めてまいりました。

一方で、新型コロナウイルス感染症に伴う社会情勢の変化に伴い、子どもや子育てを取り巻く環境も、貧困や格差の問題等大きく変化しています。そのような社会情勢を踏まえながら、委員の皆さまには、行政の考えに対して、市民生活の中で感じるご意見、子育て支援活動の中で抱える諸課題など、忌憚のないご意見をいただける事をご期待申し上げます。宜しく願い申し上げます。

### 《事務局》

委員改選後初の会議ですので、現在会長が選出されておられません。また、流山市附属機関に関する条例第5条の規定に基づき、「会長が会議の議長になる」と定められています。会長が選出されるまで、子ども家庭部長の秋元が仮議長を務めさせていただきます。それでは、秋元部長よろしく申し上げます。

#### 《秋元部長》

ただ今から令和3年度、第2回流山市子ども・子育て会議を開催します。初めに、会議の成立について申し上げます。本日の会議につきましては、委員14名中、出席委員13名、欠席委員1名でございます。

流山市附属機関に関する条例第5条第2項により、会議は、委員の半数以上の出席により成立しますので、本日の会議は成立していることを御報告します。

それでは、議事に入ります。初めに、議題（1）「会長・副会長の選出」についてです。現在、会長が選出されておられませんので、初めに流山市附属機関に関する条例第3条の規定に基づき、会長の互選を行います。

会長には、国の子ども・子育て会議の委員を務めておられ、子育て支援に関する研究者の第一人者であり、本市の子ども子育て会議の前期会長を務められた、淑徳大学教授、柏女霊峰委員にお願いしたいと思いますが、みなさんご承諾いただけますでしょうか。異議のない方は、挙手をお願いします。

#### 《委員挙手》

挙手多数であります。よって、柏女霊峰委員が、流山市子ども子育て会議の会長に決定しました。それでは、柏女委員からご挨拶頂きます。

#### 《柏女会長》

只今子ども・子育て会議の会長に任命されました、柏女でございます。今期の会議は、第二期子どもをみんなで育む計画の見直しについて審議いたします。皆様にご協力をいただきながら、実り多い会議にしていきたいと思っております。

#### 《秋元部長》

ありがとうございました。それでは、ここからの議事進行については、議長である柏女会長と交代します。

#### 《柏女会長》

現在、副会長が選出されておられませんので、流山市附属機関に関する条例第3条の規定に基づき、副会長の互選を行います。副会長には、本市の子ども子育て会議の第1期、第2期の副会長を努められ、また、公募による委員として、4期にわたり委員を努められた、田中由実委員にお願いしたいと思っておりますが、みなさんご承諾

いただけますでしょうか。異議のない方は、挙手をお願いします。

《委員挙手》

挙手多数でありますので田中由実委員が、流山市子ども子育て会議の副会長に決定しました。それでは、副会長に決定しました田中委員からご挨拶を頂きます。

《田中副会長》

副会長に選任されました田中です。私は流山市の子育てコミュニティなこっこのほか、おおたかの森にありますファミリー・サポート・センターを運営しています。4年ぶりの副会長ということですが、よろしくお願いします。

《柏女会長》

それでは、次に議題の(2)「委員紹介」についてです。事務局、事務局から各委員の紹介と事務局職員の紹介をお願いします。

《委員および事務局紹介》

《柏女会長》

次に、議題の(3)「第2期子どもをみんなで育む計画における令和2年度事業評価について」です。事務局から説明をお願いします。

《事務局説明》

資料1：子どもをみんなで育む計画事業評価

資料2：事業評価シート（全事業）

資料3：事業評価集計表

資料4：第1回会議における委員からの意見一覧

《柏女会長》

ありがとうございました。それでは、各委員からご質問・ご意見をお願いします。

《羽中田委員》

事業番号60「情報化社会への対応」に関して、児童生徒一人に一台タブレット

端末を整備したとのことですが、市内の学校施設にインターネット環境は整っているのでしょうか。

《事務局》

令和2年度の現状・課題・取組欄に令和2年度に市内全ての小中学校に校内ネットワーク無線LAN環境を整備したと記載がございますが、念のため事業担当課に確認いたします。

《高山委員》

事業評価シートについて、それぞれの活動指標や成果指標を設定するまでのプロセスはどうなっているのでしょうか。この設定が市民満足度の向上や主要課題の解決のうえで重要であると思います。

《事務局》

流山市の最上位計画である流山市総合計画や全庁的に作成をしているまちづくり報告書と紐付けて指標を設定しています。これらから指標を設定できない事業については各課で持っているデータ等に基づき設定をしています。

《高山委員》

それらの指標のつながりはどこを見ればいいのでしょうか。

《事務局》

今回配布いたしました事業評価シート上にはどこからの指標を引用しているかは記載しておりません。

《柏女会長》

第二期子どもをみんなで育む計画策定時に市民に向けて利用意向のアンケート調査を実施しています。その結果を元に保育施設の整備や子育て支援に関する計画上の目標値の設定をしています。

それらのデータは令和元年度の子ども・子育て会議において審議されておりますので、議事録をご確認いただくほか、後日事務局からご案内いたします。

#### 《橋本委員》

新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できなかった事業の評価に際し、A B C D評価区分のほかに「評価不能」の区分の追加が必要ではないでしょうか。D評価は次年度以降の事業の実施にあたって廃止・統合という区分が該当するのではないのでしょうか。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により事業が未達であっても可能な限り対策を施したものは今回B評価ですが、事業の何%まで実施できたのか、その状況を数値で明らかにする必要があるのではないのでしょうか。例えばその事業実施率が、50%以下でB評価がついていた場合、評価としていかなるものかと思えます。これらについて、事務局で再考いただきたいと思えます。

また、事業全般に関して、リモートの活用をさらに検討してはどうでしょうか。座学の研修をオンライン配信にすることや、情報提供など事業担当課で積極的に取り入れてはどうでしょうか。

#### 《柏女会長》

評価の在り方についてご意見いただきました。事務局の方でこの意見について再度検討をいただきたいと思えます。それでは、他の方はいかがでしょうか。

#### 《矢口委員》

事業番号60「情報化社会への対応」に関して、生徒一人ひとりにタブレット端末が行き渡るのは非常にいいことですが、各家庭においてWi-Fi設備などのネット環境が対応できていないことがあります。それに対するフォローが必要です。

また、タブレット端末では計算ドリルなどができますが、基本的に小学生は小学生の範囲を、中学生は中学生の範囲までしか利用できません。児童や生徒の学習の進捗度合に応じ、中学生が小学生の学習範囲を復習できるなど横断的な活用ができると更にいいと考えます。

事業番号16「夏休みの学校開放による「夏休み子ども教室」事業」に関して、市内の一部公民館ではWi-Fi環境が整っていません。インターネット環境を整備して子どもの居場所として公民館を活用できるようにしていただきたいです。

事業番号129「居宅訪問型児童発達支援」に関して、利用者が0人であったためD評価とのことですが、もっと明確に周知を行ったら利用者がいたのではないのでしょうか。

高山委員の質問にもありましたが、総合計画はそもそも市民意見をどれだけ取り

入れて策定されているものなののでしょうか。パブリックコメントを実施されたのでしょうか。また、行政だけではなく地域の人材を活用した支援の仕組みづくりが必要であると考えます。

#### 《事務局》

個別事業に対するご意見は後ほど事業担当課にフィードバックいたします。

総合計画の策定においては、総合計画審議会という審議会のほかパブリックコメントの実施や市民アンケートを実施しています。

#### 《柏女会長》

この子ども・子育て会議においても、計画の策定時等で市民アンケートを実施し、市民意見を取り入れています。他の方はいかがでしょうか。

#### 《藪本委員》

各課で客観的に評価が行われているようですが、一方で事業評価の区分をみるとB評価が非常に多いです。市民目線でこの結果を見たときに、事業実施内容が評価に反映されているのでしょうか。計画期間の5年間の経年評価を見ますと思いますが、仮に事業が未達であっても評価の妥当性や根拠が明記されているのであれば各年度の絶対評価でC、D評価を付けても問題ないと思います。

取組の中で出来たことを記載いただくのはいいのですが、出来なかったことを記載し把握することが重要です。各事業の課題や改善策の部分を明記していただきたいです。

#### 《田中副会長》

一つの事業で複数の課が評価を行っている事業に関して、全ての課の評価を統合して一つで付けてしまってもいいのでしょうか。同じ事業であっても課ごとに実施している内容や達成度合いは異なるので、課ごとに評価を付けてもいいのではないのでしょうか。

#### 《事務局》

複数課にわたる事業は、各課からいただいた評価を事務局で取りまとめています。状況に応じて担当課にヒアリングを行い評価結果に反映させています。

### 《柏女会長》

ひとり親に対する手当に関して、事業番号22「児童扶養手当」の受給件数が減少しているにも関わらず、事業番号24「特別児童扶養手当」や事業番号28「ひとり親家庭等医療費等助成」の受給件数は増加しているのは何故でしょうか。

事業番号112「障害児保育」の活動指標について、公立保育所は実施園数を記載しているのに対し、私立保育園は受け入れ児童数を記載しています。公立保育所も児童数を記載したほうがよいのではないのでしょうか。

これは意見ですが、事業番号114「子育て短期支援（ショートステイ）」について、利用者数が減少しています。コロナ禍が要因であると推察されますが、そのような状況だからこそ支援が必要な家庭にサービスを提供することが重要であると考えます。また、施設が松戸市内にあることも利用者数に影響を及ぼす一因であると思いますので、市独自のショートステイ施設の整備を検討してはいかがでしょうか。

### 《事務局》

令和2年度の児童扶養手当は、コロナ禍となる前の令和元年中の所得状況を国の所得制限限度額と比較して受給の有無を決定しましたので、コロナ禍に伴う就労解雇による大きな収入減少のような影響は少なかったものと認識をしております。結果的に前年度と比べますと受給件数は減少となりました。そして、令和3年度は、令和2年中の所得状況を反映して受給の有無を決定します。そのため、コロナ禍の影響を受け、所得が減少する方々が多く想定されるため、受給件数は増加することと見込んでおります。

児童扶養手当と特別児童扶養手当は、制度内容と対象者も全く異なるため、受給件数自体、連動していません。また、ひとり親家庭等医療費等の助成は病院の受診回数によって受給件数が変動しますので、こちらも連動していません。

障害児保育の公立保育所の指標については、私立保育園と同様に受入児童数の表記に修正いたします。

### 《藪本委員》

事業番号112「障害児保育」の活動指標について、私立保育園の受け入れ児童数から小規模保育事業所の数が除かれていますが、小規模保育事業所でも受入があるため数値を追加してほしいです。

事業番号10「地域子育て支援センター」について、現在施設ごとに利用者数のばらつきが生じていますので、その均質化を掲げているところです。それに対する

課題や目標を盛り込んでいただきたいと思います。

《柏女会長》

地域子育て支援センターの評価は、課題や次年度の取り組み欄にそうした内容を盛り込むということですね。他の方はいかがでしょうか。

《羽中田委員》

事業番号11「保育所の多機能化」について、D評価がついていて、成果目標などが空欄ですが、この事業は今後廃止するということでしょうか。

《事務局》

新型コロナウイルス感染症の影響で園開放ができなかったため、昨年度は事業実績がありませんが、今年度は状況を見ながら実施いたします。

《羽中田委員》

新型コロナウイルス感染症を理由に実施が難しいということは理解しますが、子育て相談や交流事業は何らかの方法で実施できるのではないのでしょうか。保育所の多機能化は園開放のみに限定するものではありません。保育所の規模に応じた様々な取り組みを実施してほしいです。

《柏女会長》

園開放だけでなく様々な工夫をして事業を拡げていただきたいと思います。他にご意見はございますか。このほかにも何かございましたら8月11日までに事務局へ意見を提出いただきたいと思います。議題（3）については以上となります。

最後に、議題（4）「その他」について、事務局から説明をお願いします。

《事務局》

事務局より、今後の会議の運営について、委員の皆様にお諮りいただきたい事項がございます。

1点目は、会議において、会長、副会長ともに事故あるとき又は欠けた時について、会長が指名した委員が、その会議の会長の職務を代理し、当該会議の議長となることについてです。

2点目は、流山市子ども・子育て会議の会議録についてです。流山市市民参加条

例第9条により審議会を開催した時は、会議録又は会議要旨を会議終了後、原則として1か月以内に作成することとなっております。会議録の作成形式及び決裁方法は、会議における発言の趣旨をまとめた議事要旨という形で作成し、出席委員に内容を確認して頂き、会議録を成文、完成いたします。内容に疑義が生じた場合のみ、会長と協議いたします。

以上の2点について、本会議での申し合わせにより決めることについて、委員の皆様にお諮りをいただきたいと思います。

#### 《柏女会長》

事務局から提案があった2点について、流山市子ども・子育て会議の申し合わせとして決定することよろしいでしょうか。異議のない方は、挙手をお願いします。

#### 《委員挙手》

異議がないようですので、会長、副会長ともに事故あるとき又は欠けた時の会長の職務代理者の件及び、会議録の作成形式及び決裁方法については、提案のとおり、御了承をいただきましたので、よろしく申し上げます。

最後に、次回、第3回子ども・子育て会議のご案内です。日時は、9月15日、水曜日の午前10時からを予定していますので、委員の皆様、御出席のほど、よろしく願いいたします。

その他委員の皆様からご質問、ご意見ありますでしょうか。

#### 《高山委員》

今回審議した事業評価シート全体について質問なのですが、この作成目的は何でしょうか。

#### 《事務局》

市の事業は様々な計画に基づいて実施していますが、それらの事業内容の振り返りを目的として実施しています。

#### 《高山委員》

この事業評価は職員の皆さんの振り返りになるのでしょうか。

《柏女会長》

各事業は子どもをみんなで育む計画に基づいていますが、計画上P D C Aサイクルを回して実施しています。事業評価はその中のCに当たります。次年度に計画の見直しを予定しておりますので、事業評価内容をもとに市民の代表者である審議会でも議論いたします。行政だけでなく、市民の判断材料にもなります。また、今回はアウトプット評価に当たり、今後は市民満足度を図るアウトカム評価を実施いたします。

《高山委員》

この事業評価シートの対象者は行政だけでなく市民も含まれているということですが、市民目線で内容をみると何が書いてあるのかがわかりにくいです。私自身委員としてどのような目線で見たらいいのか迷う部分がありますので、そのあたりをお聞かせいただけないでしょうか。

《柏女会長》

事業評価内容のわかりにくさについては以前から課題であった部分です。事務局いかがでしょうか。

《事務局》

そのような課題を踏まえて昨年度事業評価の見直しを行いました。市民に向けた説明や公開については、より分かりやすいやり方を検討いたします。

《高山委員》

こうした計画や事業評価が、総合計画に紐づき実施されていることは理解しましたが、そういった内容を市民に向けて説明する機会があったのでしょうか。

《事務局》

第2期子どもをみんなで育む計画の策定時に、田中副会長にもご協力いただき子育てワークショップを実施いたしました。その際にこの計画のPRや市民の皆様から子育て支援施策についてご意見をいただきました。

《柏女会長》

委員の皆様には、市民の代表としてこの計画やパブリックコメントの周知を積極

的に行っていただきたいと思います。このほかにもご質問ございますか。

《羽中田委員》

今年度の先の会議スケジュールは決定していないのでしょうか。

《事務局》

今年度の会議は次回含めて2回の実施を予定していますが、来月以降の日程につきましては現在未定です。また、次回の会議の議題は保育園の新規開設に伴う利用定員の設定と、今回審議しました事業評価についての最終報告となります。

《藪本委員》

先ほど高山委員から意見があったように、この審議会の審議内容全般に言えることですが、行政で使用されている専門用語が多くあります。市民にこうした内容を伝えるための広報の視点が欠けています。また、こうした取り組みの広報、周知に力をいれて欲しいため、今期の会議の議題として盛り込んでもよいのではないのでしょうか。

《柏女会長》

広報の視点をこの会議の議題に入れていくというご意見でした。事務局でご検討いただくほか、委員の皆様にもぜひアイデアを提案していただきたいと思います。また、皆様のご意見によっては広報について部会を設置して議論いただくことも考えられると思います。このほかにはいかがでしょうか。

《矢口委員》

今まで行政でこんな事業を実施したらどうかと思っていた事業が、この事業評価を通して実際に行っていたことがわかりました。委員自身もこうした取り組みを発信していくことが重要であると思います。

《柏女会長》

先ほどの羽中田委員からの意見に関連しますが、保育に関してこれまで待機児童の解消が大きな課題でありましたが、厚生労働省では保育所の地域支援に関する検討会が立ち上げられました。また、障害児通所支援の検討会も実施されていますので、こうした情報もぜひご確認いただきたいと思います。

それでは、以上をもちまして、令和3年度第2回流山市子ども・子育て会議を閉会します。お疲れ様でした。

以上